

# 奈良県立医科大学学報

October  
2007

vol. 22

## CONTENTS

藤原京スタディ .....	1
ひらめき ときめきサイエンス .....	2
SC/保健文化賞/住居医学研究会/公開講演会 .....	3
医学教育シリーズ 13 (森田教授) .....	4
看護部から/附属病院から .....	5
研究紹介(数学 藤本教授) .....	6
研究紹介(薬理学 中山講師) .....	7
公開講座の実施結果/組合バレーボール/福建大学/ 図書館「ないど(奈医図)ブログ」 .....	8
平成18年度決算 .....	9
学園祭/オープンキャンパス実施結果/ 大学院修士課程設置/博士課程専門コースの採択 .....	10
レポート .....	11
平成20年度入試日程/下ツ道/広告 .....	12



藤原京スタディについての記者会見の様

## 順調に進む高齢者を対象とした大規模疫学研究

—住居医学コアプロジェクト・藤原京スタディー—

地域健康医学講座 教授 車谷 典男

本学の敷地がその一角を占めていた日本最古の都にちなみ名づけた「藤原京スタディ」は、大和ハウス寄付講座住居医学講座のコアプロジェクトの一つに採択された5年計画のコホート(追跡)研究です。65歳以上の独歩可能な高齢者を対象に、QOL(生活の質)やADL(日常生活動作)、生活機能に関連する要因を疫学手法により明らかにすることによって、健康寿命に関する科学的知見を得ることを目的としたものです。運動能力・認知機能・口腔機能・栄養評価など一人に2時間半をかけた健康診査とQOLや住環境等に関する40頁弱の本格的なアンケート調査を、昨年度の予備調査を踏まえて本年6月より開始し、7月末に千人を終えたところです。今後は橿原市の全面的な協力のもと、最終的に5千人の協力者を得ることを目指しています。高齢者を対象としたこれほど大規模な疫学研究は国内でも稀で、また健康寿命の要因として生活の場である「住居」にも焦点を当てた研究は珍しいと自負しています。投入する研究費の大きさとスタッフ数の多さは初めての経験であり、毎日が綱渡りの連続ですが、学内では学長をはじめ各教授、研究推進室、財産管理課などのご理解を得て順調に進んでいます。本コホート研究が基礎医学分野からの地域保健に対する本学の貢献の一つとして成功するよう、今まで以上の学内からのご支援をお願い申し上げます。最後に、本学職員のご家族で橿原市在住の65歳以上の高齢者がおられれば、是非、参加を勧めていただければ幸いです(藤原京スタディ事務局専用電話：0744-29-0722)。

## ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～

### のぞいてみよう 画像による最先端医療

(放射線医学教室)

平成19年8月5日(日)の12時30分より「のぞいてみよう 画像による最先端医療」をテーマに、放射線科と中央内視鏡・超音波部が共同で、科学研究費の補助をいただき、中・高校生と保護者を対象に体験講座を開催しました。

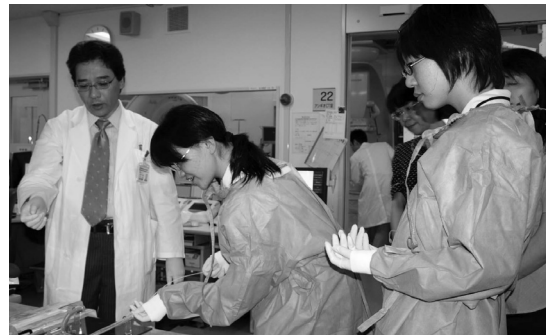
中学生3名、高校生5名(申し込み者は12名)の8名と保護者6名の参加のもと、まずCT、MRI、超音波による画像診断の原理と実際、ならびに、画像診断を応用した新しい低侵襲治療であるInterventional Radiology(IVR)に関する講演を行い、中・高校生との活発な質疑応答がありました。休憩を挟んで2班に分かれて中央放射線部血管造影室と中央超音波室に移動し、IVR体験講座、US(超音波)体験講座を開催しました。

血管造影室では実際に清潔な手袋やガウンを着用し、真剣な表情で指導医の説明を聞いた後に、ガラスの血管モデルを使用して実際にカテーテルの挿入や血管拡張術、ステントグラフト留置術などのIVRを体験しました(下写真右)。

超音波室ではアイスボックスに入った果物入りのゼリーをプローブでモニターに映し、果物の種類を当てたり、実際に交代で腹部や頸部を指導医のもとにスキャンし、超音波検査を体験しました(下写真左)。

修了式では「未来博士号」の賞状を一人一人に授与し、4時間のプログラムを無事終了しました。翌日にはさっそく、参加した中・高校生より「いろいろな経験が出来て楽しかったです」とのメールが届き、思った以上の反響に関係者一同もホット胸をなでおろしました。このような体験講座に参加して、一人でも多くの中・高校生が医学の道を志してくれれば幸いです。

最後に事前登録ならびに当日の講座開催にご協力頂きました研究推進室の皆様にお礼を申し上げます。



### 「いのちの連続性と環境変化～宇宙研究へ～」

(生物学教室)

日本学術振興会支援事業の本プログラムは、大学研究者の最先端の研究成果を学生が見る・聞く・触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学(学術)がもつ意味を理解してもらうものです。これまでの貴重な宇宙実験の経験をもとに、「いのちをとりまく環境変化に対する生命現象」から「宇宙環境の中の生命現象」までを紹介しました。また、「さかさのさかな」を例に姿勢制御について体験実習を行いました。今回出席した中高校生の科学に対する好奇心と意欲を強く感じることができました。また、「このような企画を今後も継続してほしい」との希望を多く受けました。なお、日本学術振興会からの参加要請があり、開催内容全体の視察を受けました。

実施教室と場所：本学生物学教室・実習室 開催日：平成19年8月9日(木)10時～15時半

参加者：中高校生30名、保護者3名、講師3名、ティーチングアシスタント2名



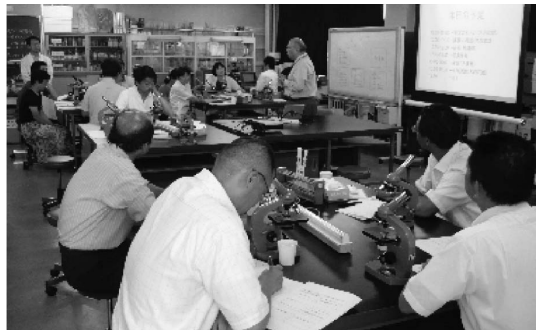
## 理数系教員指導力向上研修（ティーチャーズ・サイエンスキャンプ,TSC）

（生物学教室）

中学生・高校生の理科離れの対策として、独立行政法人科学技術振興機構は、次代を担う人材への理数教育の充実に  
関する施策の一環としてTSCを推進しています。今回開催されたTSCでは、観察・実験等の体験的・問題解決的な活  
動に係る理数系教員の実践的指導力の育成・向上を図ることを目的として行いました。深い科学的思考を織り込んで  
いますが、シンプルな実験に工夫した実習を提供しました。参加された教員全員から、今回の実習課題を高校の授業で  
「絶対取り入れる」、あるいは「できれば取り入れたい」との感想が得られ、大変有意義な研修となりました。

実施教室と場所：本学生物学教室・実習室 開催日：平成19年8月3日(金)10時～15時半

参加者：高校教諭15名,講師4名,ティーチングアシスタント2名



## 保健文化賞を受賞して

### 第59回 保健文化賞



（IFMSA-Japan理事）医学科 4年 左近 郁絵

この度、私が理事を務めますIFMSA-Japan(国際医学生連盟 日本)が、第59  
回 保健文化賞を受賞いたしました。IFMSA-Japanは「幅広い視野を持った医療  
人の育成」を団体理念とした医学生・医療系学生のNGO団体として、その理念  
を果たすべく交換留学や公衆衛生、性教育、人権と平和に関するトピックを扱う  
5つの委員会に分かれて全国的に活動を展開しています。また、保健衛生の分野  
において学生時代の活動で培ったものを遺憾なく発揮し、今後の医療界に貢献出  
来るよう学生のネットワークを構築しています。本賞の受賞はこれまでの活動を  
認めて頂いたと同時に、これからの活動への力強いエールを頂いたと真摯に受け  
止めております。この賞を励みにし、今後も常に向上心を持って精進して参ります。最後になりましたが、この場をお  
借りいたしまして推薦して頂きました吉田学長先生および平素より本校における活動にご理解を頂き支援頂いておりま  
す麻酔科 古家教授、交換留学生を受け入れて頂いております各教室・医局の教授・諸先生方に深謝いたします。

## 第11回住居医学研究会開催のお知らせ

（研究推進室）

日時：10月17日(水) 16:00～17:30 / 場所：奈良県立医科大学・厳櫃会館3階大ホール

演者：千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学教授 森 千里先生

主題：新しい予防医学の試み

## 公開講演会「単細胞生物 ワンダフル・ライフ!!」開催のお知らせ

生理学第一講座 講師 豊田ふみよ

下記のとおり本学において公開講演会を開催いたします。是非、ご参加ください。

日時：11月24日(土) 14:00～17:00 / 場所：奈良県立医科大学・厳櫃会館3階大ホール

対象：高校生・一般市民

主催：（社）日本動物学会近畿支部 支部長 沼田英治（大阪市立大学）

連絡先：第一生理学教室 代表世話人 豊田ふみよ

TEL：0744-29-8827 FAX：0744-29-0306 E-mail：tfumiyo@narmed-u.ac.jp

### プログラム

講演会 14:00～16:00

1. ゲノム多様性が語るマラリア病原体の寄生戦略 田邊和祐（大阪大学微生物病研究所教授）
2. エラー寿命とプログラム寿命～ゾウリムシの視点から～ 高木由臣（奈良女子大学名誉教授）

生きものなんでも相談 16:00～17:00

生きものに関する様々な疑問に対し、上記講師と日本動物学会近畿支部委員がお答えします。



## コンソーシアムを利用した学習システム

教育開発センター 教授 森田 孝夫

「コンソーシア」とは本来、ある目的のために形成された、複数の企業や団体の集まりを意味します。近年、大学教育に対する社会の期待や学生ニーズの多様化により、大学、地域社会及び産業界との連携や大学相互の結びつきをより一層深めていくことが求められています。奈良県では平成13年3月に9大学により「奈良県大学連合」が結成され、平成18年度には四年制大学・大学院大学全12校からなる組織に成長しています。

かつて、飛鳥・奈良の時代には、奈良県は学問・文化・産業の情報発信基地でした。この地に立地する12の大学が、国立、公立、私立の枠を越えて連携を強化することは、それぞれの大学での教育・研究の充実・向上を図るばかりでなく、大学と地域社会及び産業界との連携を図る上で大きな意義があることは間違いありません。

さて、平成20年度の医学科の第3学年のカリキュラムにこの「コンソーシアム」を利用した新しい学習プログラムが導入されることになりました。これは奈良県大学連合の単位互換制度を利用したカリキュラムです。単位互換制度というのはある大学の学生に他の大学で講義を受ける機会を作り、そこで認定された単位を自分の大学の単位として認定する制度です。現在、この制度には帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良産業大学、奈良教育大学、奈良県立大学が加盟しています。平成20年度には本学とともに奈良女子大学が加盟することになりました。

本学医学科の学生（第3学年）は前期（平成20年4月～7月）の1日（全日）をコンソーシアムを利用して学習することになります。本年度の実績では、1日に提供されている授業科目は約300科目であり、学生が選択できるプログラムは実に豊富です。本学学生は他大学のキャンパスで他大学の学生とともに学びます。

このコンソーシアムプログラムは平成17年度からスタートした医学科の新カリキュラム「MDプログラム2006」の中のひとつです。では、このコンソーシアムプログラムに大学は何を求めているのでしょうか。その目的について述べたいと思います。

第一に、医学科の学生は最低でも6年間という長い学習期間を100名弱の限られた仲間とともに学習します。カリキュラムは一般教育を除きほとんどすべて必修科目です。つまり、長期間、均一の集団のなかで同じカリキュラムで学びます。将来、医師となることを考えると、均質な教育環境から一歩踏み出して、さまざまな人たちと交わって学習することが重要だと思います。他大学・他学部の学生とともに学習し、さまざまな価値観に接することで、医師となることの自覚、社会的責任を身に付けることが期待されています。

第二に、提供されるさまざまなプログラムを利用して、古代以来、学問・文化の発信地であった奈良の地についての理解を深めてほしいと思います。奈良学など奈良の地について識ることができるプログラムが沢山あります。奈良の地で学んだことの意義を考えるよい機会になると思います。

第三に、奈良医大としてはコンソーシアムを実現するために貴重な教育時間を割いて、週1日、半年間の授業時間を確保しました。それはこの時間を利用して、学生諸君に自己研鑽、自己変革を行ってほしいからです。コンソーシアムをどのように利用するかをよく考え、目標・方法を自分で定めて、「ひとりの大人」としてこの機会を有効に使い、医師としての成長に役立てて欲しいと願っています。

## 認定看護師からのお知らせ



新生児集中ケア認定看護師 橋本 綾

7月に池内勝継看護師（写真右）が認知症看護、木村道子看護師ががん化学療法看護（写真左）の認定看護師となり、総勢7名になりました(下図)。各科に関わる分野から、限られた分野と様々ですが、それぞれが看護の質の向上につながればと思い活動しています。質問、相談があればそれぞれの所属にご連絡下さい。内線番号は以下のとおりです。

がん化学療法看護	1. がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理、副作用症状のマネジメント	木村道子	化学療法室 3307
	2. がん化学療法を受ける患者・家族のアセスメント及び、問題に対するマネジメント能力向上のための支援		
感染管理	1. 疫学の知識に基づく院内感染サーベイランスの実践	徳谷純子	ICTルーム 3251 C8病棟 5800
	2. ケア改善にむけた感染防止技術の導入（サーベイランスに基づく感染対策）		
	3. 各施設の状況にあわせた感染管理プログラムの立案と具体化	松浦 一	集中治療部 5352
救急看護	1. 救急病態を理解した患者対応（救命技術・トリアージ・病態に応じたケア技術）	伊藤雪絵	高度救命救急センター外来 4179
	2. 危機状況にある患者・家族の支援(早期から対象に応じた危機介入、支援)		
新生児集中ケア	1. 急性かつ重篤な状態にある新生児に対し、後障害を予防し母体外での身体的、生理学的安定を図るためのケア	橋本 綾	新生児集中治療部 3462
	2. 養育行動障害の防止のための親子関係形成の支援		
認知症看護 (認知症高齢者看護)	1. 認知症患者の権利擁護として意思表出能力を補完	池内勝継	D病棟4340
	2. 認知症の周辺症状を悪化させる要因への働きかけによる、行動障害の予防、緩和		
	3. 認知症患者の状態把握を含む、心身状態の総合的なアセスメント及びケアサポートシステムの立案		
皮膚・排泄ケア (創傷・オストミー・失禁(WOC)看護)	1. ストーマ造設・褥創等の創傷及び失禁に伴い生じる問題のアセスメント及び適切な皮膚ケア	前川和世	創傷相談室 3270
	2. 排泄障害の病態理解及び個人に適した排泄管理、指導（オストミー・失禁ケア）		

## 附属病院から

奈良医大職員組合から車椅子とカートの寄贈を受けました。

この度、奈良医大職員組合のご厚意により、車椅子10台、カート3台の寄贈を受けました。附属病院には現在約45台の車椅子を配置していますが、患者様が多い日には不足することが度々ありました。

また、カートは主に入退院時に利用されていますが、こちらも現在6台のみで不足していました。この度の寄贈により、患者様のサービス向上に寄与できるものと思われます。



## 射影代数多様体の上の自己準同型写像の研究

数学教授 藤本 圭男

私は射影代数多様体（有限個の多項式の共通零点として定義された図形）の上の自己準同型写像を研究しています。円  $x^2 + y^2 = 1$  は、変数  $x$  や  $y$  がとる値を複素数まで許せば、 $X = x + y\sqrt{-1}$ ,  $Y = x - y\sqrt{-1}$  という変数変換により双曲線  $XY = 1$  に化けます。見かけは違っていても変数変換で移りあう図形は本質的には同じと見なし、図形のより深い内在的な幾何学的性質を探索していくのです。この意味で、高校数学の円、楕円、双曲線等全ての2次曲線の実体は唯一で非特異有理曲線と呼ばれ、位相的には実3次元空間内の原点を中心とする2次元単位球面  $S^2$  と同じです。球面を地球と見なし北極  $N$  の上に灯台を置いて光を発射すると、 $S^2$  から北極  $N$  を除去した部分と、実2次元平面  $R^2$  即ち複素座標  $z$  を持つ複素平面  $C$  とが光線で結ぶ事により  $1:1$  に対応します。更に北極  $N$  の無限小近傍と  $C$  の無限遠の彼方とが対応します。そこで、 $C$  を無限大の巨大な風呂敷とみて無限遠の境界に沿って包み込む、即ち複素平面  $C$  に無限遠点  $\infty$  を添加してコンパクト化することにより  $S^2$  に複素座標が入り、1次元の複素リーマン球面  $P^1(C)$  が得られます。すると  $z \mapsto z^n = w$  ( $n$  は2以上の整数) という対応関係により、 $P^1(C)$  から自身への  $n:1$  の全射正則写像（つまり、任意の  $w \neq 0$  の逆像は  $C$  上の相異なる  $n$  個の点）が得られます。

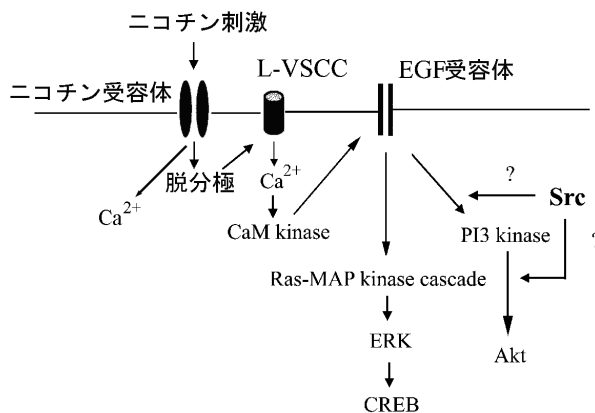
私はこれらの例の一般化として複素3次元の非特異射影代数多様体  $X$  で自分自身への次数が2以上の全射正則写像を持つ類の構造を調べており、 $X$  の小平次元が非負の場合にはその完全な解析に成功しました。複素3次元は実6次元であり、直接目には見えない世界での幾何です。医学だけでなく数学、代数多様体の世界にも手術が存在します。それが京大の森重文先生により構築された極小モデル理論です。一般の高次元代数多様体は曲がった非線形の複雑な空間で無駄がある為、余分な膨らみを凝縮させてピンポン玉（リーマン球面）をつくり、これらを潰して空間の構造を簡単にするのです。代数多様体の重要な情報だけを抽出してアイスクリームのコーンの様な形に置き換えると、空間の膨らんでいる箇所はスナック菓子の尖がりコーンの様に局所的に角張っている部分に相当します。その尖った端っこの線に相当するリーマン球面を潰す操作を‘錐収縮写像’といいます。森理論を我々の場合に適用すると、 $X$  内の無駄な複素2次元多様体（曲面）が複素1次元トーラス（楕円曲線）につぶれ、しかも傷が全然ない非特異な極小モデル  $X'$  が得られます。そこで先ず手術後の極小モデル  $X'$  の構造を調べ、次に先程とは逆の操作、 $X'$  上の然るべき楕円曲線に沿って‘爆発’（ブローアップ）という空間を膨らませる手術を施して元来の多様体  $X$  を回復させました。楕円曲線とは穴が一個空いたドーナツに複素座標を入れた図形で数学の至る処に登場する影武者です。整数論のフェルマー問題の解決、素粒子物理の4次元超対称性理論の厳密解の構成、暗号理論等でも重要な役割を担いました。尤もこれは偶然に出現した訳ではありません。楕円曲線には整数同様、加法が定義でき、点を  $n$  ( $\geq 2$ ) 回足し算する操作により自分自身への非同型な全射正則写像を持つからです。修士以来、楕円曲線のパラメーター族である楕円ファイバー空間という複素多様体と関わってきましたが、再遭遇してちょっと嬉しくなりました。現在は  $X$  の小平次元が負の場合の研究を続行中です。今後、講義で現代数学の潮流や数学概念の派生した歴史・舞台裏を紹介したく思います。

# 神経伝達物質受容体を介した細胞内シグナル伝達機構の研究

薬理学学内講師 中山 均

薬理学の把握の仕方は薬理学者によって異なる見解もありますが、私は現代薬理学を理解するには薬力学 ( pharmacodynamics )、薬物動態学 ( pharmacokinetics )、薬理ゲノミクス ( pharmacogenomics ) の3つの構成要素から把握する必要があると考えています。このうち、薬力学、薬物動態学は伝統的な薬理学の領域ですが、その内容は時代と共に大きく変貌しています。薬力学の場合、薬の特異的な作用を説明するために「薬物受容体」という概念を導入して、簡単な数式から個々の薬の作用の仕方を定量的に推定してきました。その後、生化学的、分子生物学的技術の導入に基づき、「薬物受容体」が精製されたりクローニングされることにより「薬物受容体」の物質的基盤が確立され、特定の薬物刺激による受容体活性化の機構、刺激が細胞内に伝達される細胞内シグナル伝達機構、細胞内に伝達されたシグナルが生理的变化を導く機構、また、短期から長期にわたって遺伝子の働きを活性化したり抑制する機構などの研究が華々しく展開されてきました。

私は薬理学研究室に赴任した当初はチトクロームP-450によるニコチンの代謝の研究をしていましたが、その後ニコチンの中枢作用、特に依存に代表されるような中・長期的作用の分子機構に関心を持ち、ラット脳に存在するニコチン性アセチルコリン受容体 (ニコチン受容体) の精製とその性質、分布の研究に着手しました。しかし、脳のニコチン受容体を材料としていては量が少ないことや受容体の量的、質的調節機構の研究はしづらいので、培養細胞を材料としたニコチン受容体の研究に切り替え、現在は主として培養細胞を用いてニコチン受容体活性化に伴う細胞内シグナル伝達機構とその生理的意義、受容体刺激による神経細胞保護作用を研究しています。薬で神経細胞を刺激する場合、神経伝達物質受容体を刺激するケースとその下流にあるシグナル伝達経路を直接刺激するやり方では細胞の反応は必ずしも同じではありません。これは受容体は受動的なゲートではなくそれ自体、調節能力のある単位としてダイナミックに変動しているからです。私は、薬で受容体を活性化することとその下流にあるシグナル分子を活性化したときの細胞の反応の相違やその場合の受容体の調節能力に興味を持っています。また、ニコチン受容体研究と平行して、ポリグルタミンを含む融合タンパク質 ( PolyQn ) を培養細胞に発現させ、神経変性疾患のモデルとしてpolyQnによる細胞死の機構を解析し



ニコチン受容体刺激による細胞内シグナル伝達経路活性化の一例。Aktは代表的な生存シグナル分子、CREBは転写因子で多くのターゲット遺伝子がある (医学の歩み(2004) 210, 665-668より)。詳細は奈良医学雑誌58巻115ページを参照ください。

ています。PolyQnによる細胞死はハンチントン舞蹈病に代表される神経変性疾患の一要因として知られており、私の場合、ニコチン受容体刺激による細胞保護実験のモデル系として導入しました。受容体刺激による保護作用自体はネガティブな結果でしたが、PolyQnによる細胞死の機構を調べるうちに小胞体ストレスやユビキチン-プロテアソーム系など神経変性一般の問題がクローズアップされ、これ自体も私のテーマになっています。

# 公開講座「くらしと医学」を開催しました

(総務課)



今年度前期の公開講座を、9月8日(土)に橿原文化会館大ホールにおいて開催しました。

当日は、多数の聴講者を得て3つの講座が開催され、まず、座長の大西武雄副学長の紹介により、平尾佳彦泌尿器科学教授から「中高齢者の悩みーオシッコが飛ばない、漏れるー」と題して、続いて、池邊寧看護学科哲学講師の紹介により、上本野唱子小児看護学教授から「知って活かそう福祉関連商品」と題して、最後に、平尾佳彦教授の紹介により浅田秀夫皮膚科学教授から「高齢者によくみられる皮膚疾患」と題して講義が行われ、それぞれ活発な質疑応答がなされました。

公開講座は、本学の地域貢献の一環として、「くらしと医学」をテーマに、広く県民の皆さまに、医学・看護学の知識を解りやすく解説し、日々の暮らしに役立てていただくことを目的として開催しています。

後期は、来る2月16日(土)13時より、奈良市の県文化会館で開催する予定ですので、ぜひご聴講ください。

## 第30回 組合職員バレーボール大会の優勝によせて

今年で30周年を迎える組合職員バレーボール大会が、7月5日、18日の2日にわたり県立橿原体育館でありました。医大支部は看護部、薬剤部、中央放射線部の混成チームで挑み、みごと9年ぶりの優勝を果たしました。

過去には3連覇を果たしたこともある医大支部ですが、現在チームは高齢化が進み主力選手の多くが介護保険納入組の状態です。それでも5月から仕事の後に練習を重ねてきた努力が実ったと思います。30周年の記念の大会に、独立法人化一年目の医大支部が優勝という結果を残せ、大変有意義な大会となりました。



吉田学長を表敬訪問

## 姉妹校の福建医科大学学長の来学



国際交流委員 東野 義之

本学姉妹校である福建医科大学(中国)の陳元仲学長、林旭教授、蔡琳教授、呉志英教授ら5名が7月25日に来学され、午後2時より学長会議室で本学吉田修学長らと面会され、両校の教育や研究について話し合われた。その後4時より巖櫃会館3階大ホールにおいて、福建医科大学 奈良県立医科大学姉妹校講演会として、福建医科大学の3教授が講演され、活発な質疑応答が行われた。講演会終了後、橿原ロイヤルホテルにて懇親会が催された。なお、福建医科大学は今年開校70周年に当たり、本学より少し古い学校である。

## 図書館でブログ始めました

(附属図書館)

今年の6月から、図書館の職員による『ないと(奈医図)ブログ』を始めました。サービス内容のちょっとした改善のお知らせや、新しく入れた資料・備品の紹介なども含め、図書館運営における日々様子をざっくばらんに書いています。

図書館からのお知らせはホームページのトップでご覧いただけますが、ここでは一職員の目線から見た館内事情もかいま見ることができるのではないのでしょうか。

ほっとひと息つけるページとして、みなさんに読んでいただけたらと思います。よろしければコメントもお寄せ下さい、お待ちしております!

ないとブログ <http://naramedulib.seesaa.net/>

(図書館ホームページトップにもリンクしているボタンがあります)



# 平成18年度 奈良県立医科大学費特別会計の決算について

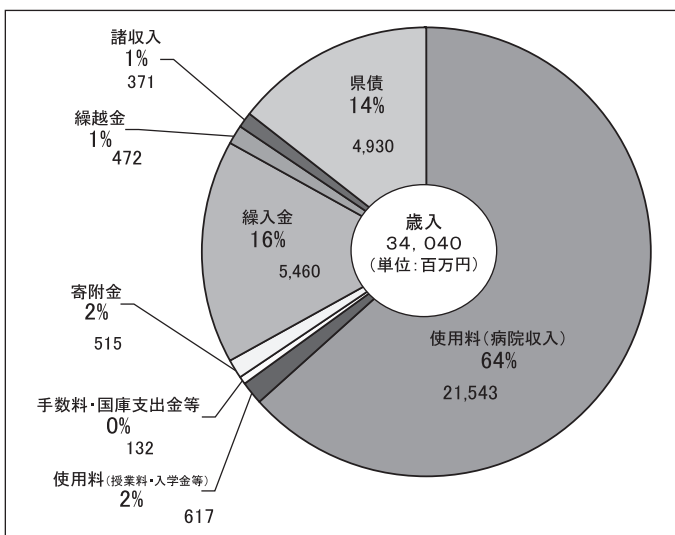
(財務企画課)

平成18年度の決算額は、総合医療情報システムや精神医療センターの整備を行ったことにより収入・支出とも前年度より増加しました。

歳入では、病院使用料収入が診療報酬の改定の影響を受けたことなどにより低額となり、これを補正予算による一般会計からの繰入金の増により、確保したところです。

歳出では、総合医療情報システムや精神医療センターの整備などにより前年に比べ大幅な歳出増となりましたが、医薬材料の在庫見直しに取り組んだことなどにより、ようやく収支均衡を図ったところです。

平成19年度からは、公立大学法人として新たなスタートを切りましたが、法人運営には経費節減、合理化など、これまで以上の経営改善及び収入の確保が必要となりますので、職員の皆さんにはそれぞれの分野でご協力をいただきますようお願いいたします。



歳入決算総額 340億4,075万円  
 (対前年度 +29億8,168万円)  
 歳出決算総額 339億8,516万円  
 (対前年度 +33億9,815万円)  
 収支差引 5,559万円  
 (対前年度 4億1,647万円)

## 【歳入】

繰入金：県の一般会計から財源補填のため繰り入れた収入

諸収入：主に研究生授業料や専修生受講料、受託事業収入

県債：精神医療センター建設や総合医療情報システム構築、医療用備品購入等に関する借入金

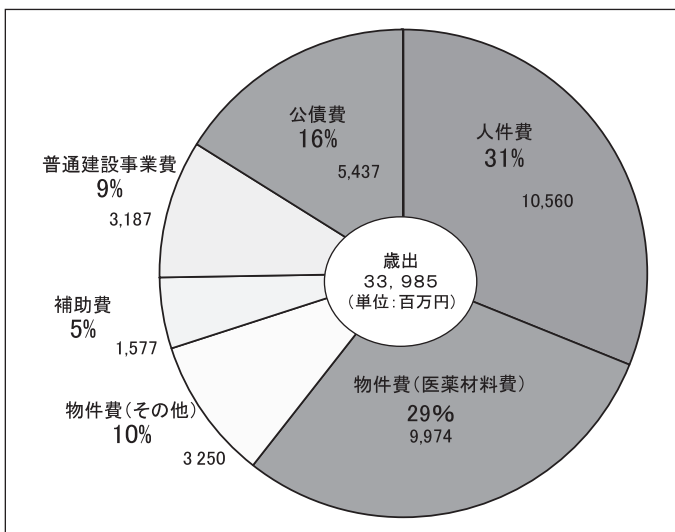
## 【歳出】

物件費(その他)：大学・病院に関する建物管理、機器保守、各種委託等

補助費：奨励会交付金、各種協会等負担金、臨床研修医謝金等

普通建設：精神医療センターなどの建設に関する経費

公債費：過去に借り入れた県債の元利償還金



歳入の約64%を占めているのが病院収入で、安定的な法人運営には、この病院収入の確保が重要です。一方、歳出についてはその約47%を占めているのが人件費・公債費で義務的な経費であるため、その面での経費節減は困難ですが、物件費(医薬材料費)などの購入や消費について合理化をすすめ、その経費削減に努める必要があります。

(白檀生祭実行委員一同)

今年も1年に1度の楽しい学祭がやって参りました！今年の吉本お笑いライブはミニ新喜劇と、バラエティーショーにブラックマヨネーズとランディーズを呼んでおります。シンポジウムには、パキスタンやアフガニスタンなどで医療活動支援を中心に行っている団体であるペシャワール会の方による講演を予定しています。また今年も金魚すくい大会も予定しております。その他野外メインステージにて各クラブによるライブや面白いイベントを盛りだくさん用意しておりますので是非お越しください。詳細は白檀生祭ホームページ (<http://www.geocities.jp/naratonara2007>) にてご確認ください。

メインイベント

- 2日：球技大会 (場所：体育館)
  - 3日：11:00～13:00 ペシャワール会シンポジウム (場所：大講堂)
  - 13:30～15:10 よしもとミニ新喜劇&バラエティーショー\* (場所：体育館)
  - 4日：10:00～ 白檀生祭金魚すくい選手権大会\* (場所：メインステージ)
- \*チケット購入とエントリーが必要になりますので白檀生祭ホームページで確認してください。

白檀生祭を運営するにあたって、各教室の先生方にはご援助をしていただき大変ありがとうございます。これからもよりよい白檀生祭を目指してまいりますので何とぞご協力よろしく申し上げます。

## オープンキャンパスの実施



(学務課)

7月28日(土)にオープンキャンパスを行いました。当日は、高校生を中心に医学科と看護学科あわせて約550名の参加がありました。また、施設見学は各学科とも100名の定員全てに申込みがあり、人気の高さが裏付けられました。

オープンキャンパスの実施にあたっては、学長をはじめとし、教員の方々、そして在学生のボランティアの皆様のご協力により、成功裡に終わることができました。ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともご協力をお願いします。

### 奈良県立医科大学大学院は2つの新しい専攻について文部科学省に認可申請中です

(学務課)

医学研究科医科学専攻 修士課程(入学定員5名)  
 医学研究科看護学専攻 修士課程(入学定員5名) ) 平成20年4月に設置予定

### 文部科学省 平成19年度「がんプロフェッショナル養成プラン」に採択されました。

放射線腫瘍医学講座 教授 長谷川正俊

チーム医療を推進するがん専門医療者の育成

- 集学的治療から在宅医療そして緩和ケアまで - (大阪大学、他との共同申請)

期間：5年間(予定)

対象：大学院医学研究科学生

内容：大学院医学研究科 放射線治療専門医コース：

がん治療専門医養成教育とがん研究指導による放射線治療専門医(認定医)資格と学位の取得



# Report

法人における重要事項を審議するため、新たに「役員会」を設置し、原則として週1回開催しています。

また、法人の経営に関する重要事項を審議するため、「経営審議会」を、大学の教育研究に関する重要事項を審議するため「教育研究審議会（原則として月1回）」を開催しています。

承認された規程、委員会名簿等については、随時、本学ホームページにて公開しています。

学内ホームページURL（閲覧は学内のみ可能）

<http://top.naramed-u.ac.jp/> 「規程・名簿タブ」

公開ホームページに掲載

<http://www.naramed-u.ac.jp/aff/johokoukai/>

（総務課）

## 役員会及び教育研究審議会の報告

### 役員会（7月4日）

- 1 渉外委員会規程を承認し、7月4日付けで施行しました。
- 2 病院運営・経営会議規程を承認し、4月1日付けで施行しました。
- 3 病院運営協議会規程の一部改正を承認し、4月1日付けで施行しました。
- 4 医局長会議規程の一部改正を承認し、4月1日付けで施行しました。
- 5 臨床研究要綱の一部改正を承認し、4月1日及び7月1日付けで施行しました。
- 6 診療用放射線障害予防規程の一部改正を承認し、4月1日付けで施行しました。

### 教育研究審議会（7月5日）

- 1 輸血部・藤村教授他1名から提出された発明届について、特許等を受ける権利を法人は承継しないことを承認しました。
- 2 准教授への昇任1名を承認し、7月16日付けで発令しました。  
（7月4日役員会にて確認済）
- 3 授業評価要綱について、平成19年度については、医学科において学生による授業評価に取り組むこととし、その他の授業評価については、教育研究審議会において引き続き検討を行うこととしました。

### 役員会（7月18日）

- 1 コミュニティ・バスの運行について協議され、バス停留所の名称については「奈良医大病院」として橿原市に回答しました。
- 2 聴講生規程を承認し、7月18日付けで施行しました。
- 3 大学院修士課程のPRについて承認し、国の指導の範囲内でPRを進めることとしました。
- 4 職員採用計画について承認し、8月中旬に公表を行い、採用活動に取り組むこととしました。

### 役員会（7月25日）

- 1 看護師2名の採用を承認し、9月1日付けで発令しました。
- 2 大学における実習生の受入れに伴う取扱要綱を承認し、7月25日付けで施行しました。
- 3 職員給与規程（ ）の一部改正について承認し、7月25日付けで施行しました。

### 役員会（8月8日）

- 1 教育研究審議会への提案事項が報告されました。

### 教育研究審議会（8月9日）

- 1 第一内科学・斎藤教授から提出された発明届について、特許等を受ける権利を法人は承継しないことを承認しました。

### 役員会（8月22日）

- 1 学生の懲戒に関する規程を承認し、8月22日付けで施行しました。

- 2 大学院手当の単価改正に伴う職員給与規程（ ）の一部改正を承認し、8月22日付けで施行し、4月1日から適用することとしました。
- 3 発明届様式の一部改正について承認し、8月22日付けで施行しました。

### 役員会（8月29日）

- 1 コンソーシアム・プログラム導入について、奈良県大学連合の単位互換制度を利用し、平成20年度から、医学科第3学年について導入することとして、関係大学と調整を進めることとしました。
- 2 第二生理学及び第二内科学から提出された任期制教員の採用について、それぞれ承認しました。

### 役員会（9月5日）

- 1 教育研究審議会への提案事項が報告されました。

### 教育研究審議会（9月6日）

- 1 生化学・高澤教授から提出された発明届について、特許等を受ける権利を法人は承継しないことを承認しました。
- 2 10月1日付け教員の採用・昇任について承認しました。  
（9月5日役員会にて確認済）
- 3 看護学科入試方式の見直しについて承認しました。  
（8月29日役員会にて確認済）
- 4 看護学科カリキュラムについて、教育研究審議会の下に（仮称）看護学科教育検討部会を設置し、見直しを行うことを承認しました。
- 5 看護学科基礎看護学の教授選考について、早急に選考委員会を立ち上げ、選考を進めることとしました。
- 6 県立三室病院放射線科部長阪口浩氏に臨床教授の称号を付与することとしました。

### 役員会（9月12日）

- 1 職員兼業規程の一部改正を承認し、9月12日付けで施行しました。
- 2 防犯カメラの設置を承認し、10月教授会議で報告後設置し、学内ホームページで周知することとしました。

### 役員会（9月19日）

- 1 ティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタントに関する規程を承認し、9月19日付けで施行しました。

### 役員会（9月26日）

- 1 看護師4名の採用を承認し、11月1日付けで発令することとしました。
- 2 医療安全管理指針及び医療安全推進規程の一部改正を承認し、4月1日付けで施行しました。
- 3 地域医療連携室運営委員会設置規程の一部改正を承認し、9月26日付けで施行しました。
- 4 附属病院規程の一部改正を承認し、9月26日付けで施行しました。
- 5 総合医療情報システム運用管理規程の一部改正を承認し、9月26日付けで施行しました。



# 平成20年度 入試日程

## 医学部

学 科 別	入試区分	募集定員	出願期間	試験日	合格者発表
看護学科	推薦・社会人	20 <sup>(名)</sup>	平成19年11月1日(木)～11月2日(金)	11月24日(土)	12月11日(火)
医学科	前期	65	平成20年1月28日(月)～2月6日(水)	2月25日(月)	3月6日(木)
看護学科	前期	40		2月26日(火)	
医学科	後期*	30		3月12日(水)	3月21日(金)
看護学科	後期	20		3月13日(木)	

\*医学科後期日程試験の募集人員30名のうち、地域枠を募集人員10名以内として新たに設けます。詳しくはホームページで(<http://www.naramed-u.ac.jp/jyuku/>)確認してください。なお、看護学科の推薦・社会人の募集要項は、学務課厚生・入試係で配布中です。医学科と看護学科の前期・後期日程の募集要項は、11月中旬に配付予定です。

## 大学院医学研究科(博士課程)

専 攻	募集定員	出願期間	試験日	合格者発表
地域医療・健康医学専攻	7(名)	第一次募集 平成19年11月12日(月)～11月16日(金)	第一次募集 11月28日(水)	第一次募集 12月11日(火)
生体情報・病態制御医学専攻	13	第二次募集 平成20年2月18日(月)～2月22日(金)	第二次募集 3月5日(水)	第二次募集 3月21日(金)
生体分子・機能再建医学専攻	20			

社会人(官公庁、研究所、病院等に勤務し、入学後もその職を有する者)の入学も可能です。学生募集要項は、学務課教務係で配付しています。また、ホームページでも確認できます。(<http://www.naramed-u.ac.jp/jyuku/>)

### 下ツ道

(編集後記)

本号から巻末に企業広告欄を設けました。法人化にともなうひとつの変化です。皆様のお役に立つよう内容の向上に努めてまいりたいと思います。本号では学内でのさまざまな活動に加えて、本学を軸とした地域との連携、国内外における活動も紹介しています。所属部署が違ってもお互いにどのような活動をしているか知る機会が少ないですが、本学報によりこのギャップが少しでも縮まることを願っています。

掲載希望の記事等については、各編集委員までお知らせください。

山下 勝幸(生理学 第一)  
大西 健(生物学)  
王寺 幸輝(寄生虫学)  
金内 雅夫(内科学 第一)  
池邊 寧(看護学 哲学)  
澤 清美(看護部)  
岡本 真昭(病院管理課)  
芳倉 亮(学務課)  
鷹野 覚(総務課)  
福留 隆二(研究推進室)  
(印は委員長)

### 広告

こんにちは 弘済団です。

いつも売店、食堂、理容室、複写機、自動販売機等をご利用いただきまして誠にありがとうございます。



売店では

月間奉仕品や職員学生割引でご奉仕しております。

平日は午後6時30分迄営業しております。お弁当、オニギリ、パスタ、お菓子やカップ麺等各種食品、デザートや各種飲み物、そして雑誌や日用雑貨等を取り揃えて皆様のお越しをお待ちしております。



食堂では

定食の他、各種一品メニューをご用意しております。

平日は午後7時迄営業しております。サービス定食等で召し上がって頂くご飯では、白いご飯の他に栄養豊かな玄米ご飯や季節のかやくご飯等を日替わりでご用意して皆様のご利用をお待ちしております。

ご存知ですか、プリペイドカードのご利用で3,000円カードは300円お得、5,000円カードで600円もお得ですよ。



理容室では

確かな技術と低料金でご奉仕しております。

ご予約承ります。お気軽にお問い合わせください。

内線5234

学内専用ホームページ内 弘済団コーナーもぜひご覧ください。

(<http://top.naramed-u.ac.jp/kousai/>)